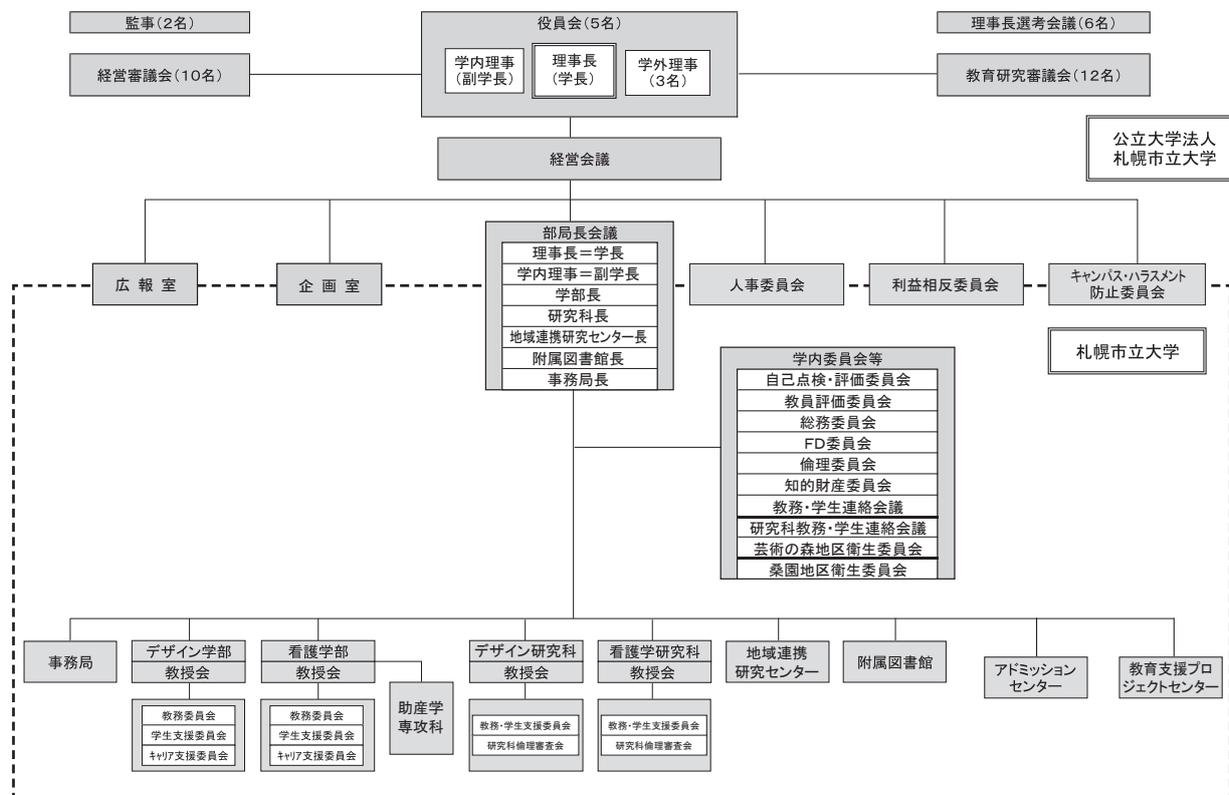




## VIII 法人・学内運営の概要

### 1 平成30(2018)年度公立大学法人札幌市立大学 組織図



### 2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 業務方法書の改正について (2) 教員の任期制の改正について	(1) 平成29年度事業報告及び決算について (2) 平成29事業年度に係る業務及び第二期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告について (3) 関係規程の改正等について (4) 公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について (5) デザイン学部入学者選抜試験の変更について	(1) 業務方法書の改正について (2) 教員の任期制の改正について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第2回	(1) 平成29年度事業報告及び決算について (2) 平成29事業年度に係る業務及び第二期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告について (3) 関係規程の改正等について (4) デザイン学部入学者選抜試験の変更について	(1) 関係規程の改正等について (2) デザイン学部入学者選抜試験の変更について (3) 看護学部入学定員変更及び入学者選抜試験の変更について (4) 教員の再任について	(1) 平成29年度事業報告及び決算について (2) 平成29事業年度に係る業務及び第二期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告について (3) 関係規程の改正等について
第3回	(1) 平成31年度予算編成方針について (2) 関係規程の改正等について (3) デザイン学部入学者選抜試験の変更について (4) 看護学部入学定員変更及び入学者選抜試験の変更について	(1) 公立大学法人札幌市立大学再入学に関する規則の改正について (2) デザイン研究科博士前期課程カリキュラムポリシーの改正について (3) 公立大学法人札幌市立大学履修等に関する規則の改正について	(1) 平成31年度予算編成方針について (2) 関係規程の改正等について (3) デザイン学部入学者選抜試験の変更について (4) 看護学部入学定員変更及び入学者選抜試験の変更について
第4回	(1) 2019年度計画及び予算について (2) 規則等の改正について	(1) 2019年度計画及び予算について (2) 規則等の改正について (3) 看護学部入学者選抜試験の変更について	(1) 2019年度計画及び予算について

### 3 役員会及び審議会委員名簿（平成30年4月1日現在）

#### 1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	樋之津 淳子	副学長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事（非常勤）	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 取締役会長
理事（非常勤）	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

#### 2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	樋之津 淳子	
理事	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	川上 佳津仁	



学外委員	酒井 裕司	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	廣田 恭一	札幌商工会議所 専務理事
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究院 教授
学外委員	丸山 知子	学校法人札幌青葉学園北海道看護専門学校 校長

### 3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学 長	中島 秀之	
理 事	樋之津 淳子	
理 事	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 取締役会長
デザイン学部長	細谷 多聞	
看護学部長	松浦 和代	
デザイン研究科長	石井 雅博	
附属研究所長	上遠野 敏	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局 長	川上 佳津仁	
学 外 委 員	池田 官司	札幌市教育委員会委員
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学 名誉教授
学 外 委 員	上田 順子	公益社団法人北海道看護協会 会長

## 4 経営会議

平成30年度は12回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

## 5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月5日	(1) 平成33年度（2021年度）入試以降の札幌市立大学デザイン学部入学者選抜試験について
第2回	4月11日	なし
第3回	5月2日	(1) 次世代アントレプレナー育成事業に関する教育連携協定書の締結について (2) 平成33年度（2021年度）入試以降の札幌市立大学デザイン学部入学者選抜試験について
第4回	6月11日	(1) 次世代アントレプレナー育成事業関連科目に関する教育連携協定書の締結について (2) 厚真町との包括連携協定書の締結について (3) 札幌市立大学と公立はこだて未来大学との学術交流協定の締結について (4) 規則等の改正について (5) 平成29年度決算について (6) 平成29年度計画・第二期中期目標期間の実績報告に係る自己点検・評価結果について



回数	開催日	議題
第5回	7月4日	(1) 反社会的勢力に対する基本方針（案）について
第6回	9月5日	(1) 平成33年度（2021年度）以降の看護学部入学者選抜試験の変更概要について
第7回	10月3日	(1) 規則の改正について ①再入学に関する規則 ②大学院デザイン研究科長期履修学生規則 (2) デザイン学部入学者選抜試験の変更について
第8回	11月7日	(1) 再入学に関する規則の改正について (2) 国立台中科技大学（台湾）との国際交流協定調印について (3) 風水害・台風・土砂災害対応マニュアルの策定について
第9回	12月5日	(1) デザイン研究科博士前期課程カリキュラムポリシーの改正について (2) 2019年度入学式及び卒業式・修了式の日程について
第10回	1月9日	なし
第11回	2月6日	(1) 公立大学法人札幌市立大学履修等に関する規則の改正について
第12回	3月6日	(1) 大学院デザイン研究科履修等に関する規則の改正について (2) 看護学部入学者選抜試験の変更について (3) 学生表彰規程の改正について (4) 旅費規程の改正について (5) 基幹ネットワークシステムの更新について (6) 平成31年度計画について

## 6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関する事、教育改革に関する事について企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。平成30年度については検討事案が発生しなかったことから、会議の開催はなかった。

## 7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。平成30年度は10回の会議を開催した。

主な活動として、2019年度版大学パンフレットの発行及び2020年度版大学パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載や札幌駅前通地下歩行空間札幌駅側イベントスペースにおける大学紹介を目的とした「札幌市立大学展・D×N：デザインと看護」の開催等のメディア展開を行った。

## 8 教授会

### 1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、平成30年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

### 2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、平成30年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入



学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

### 3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成30年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、デザイン研究科博士後期課程に関する事項について審議するため、博士後期課程会議（研究科教授会代議員会）を8回開催した。

### 4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成30年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

## 9 地域連携研究センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門、まこまないキャンパス班の3セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

なお、平成29年度まで地域連携研究センターに位置付けられていた紀要編集委員会は、平成30年度から図書館運営会議の所管となった。ただし、年度を越えて編集過程にあった第12巻については、平成29年度の紀要編集委員会が引き続き平成30年7月発刊まで業務を継続した。

また、中島学長の着任を契機として公立はこだて未来大学と学術交流協定を調印した。

### <公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした22コース51コマの講座を、延べ1,643名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として7コマ165名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活ゼミナール」を開催。「食と健康」をテーマとしたセミナーを58名が受講した。

また、公開講座の体系として設定している大項目「一般市民向け」「専門職向け」、中項目「デザイン分野」「看護分野」「学際分野」、小項目「デザイン学部4コース」「看護学部9領域」「共通教育」における実施状況を把握しながら企画運営を行った。

### <地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりテクノフェア」、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会の開催や、北海道立総合研究機構への視察交流会を開催し、更なるネットワークづくりを図った。

### <国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記の通り推進した。

#### 「学生の国際化」

華梵大学で主催された日台デザイン合同ワークショップに本学学生12名ならびに教員2名が参加した。このワークショップには台中科技大学、雲林科技大学の学生も参加しており、有益な交流が図ら



れた。また、承德医学院からは看護学部において院生を含む7名の学生、教員1名を受け入れた。さらに、華梵大学からは平成29年度からの特別聴講学生2名を引き続き9月まで受入れた。ラップランド大学からは平成30年10月から1年間の予定で特別聴講学生の受入れを行った。

この他デザイン学部の学生とアメリカポートランド市にあるPacific Northwest College of Art (PNCA) の学生が相互に訪問し、札幌ならびにポートランドに係わる映像、画像作成を行った。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

「提携校との交流の活性化」

華梵大学、承德医学院大学と学生の相互派遣を例年通り実施した。清華大学美術学院のデザインワークショップには応募したものの、残念ながら不採択となった。デザイン学部教員とラップランド大学教員が共同し、共同研究で外部資金に応募したが、不採択となった。引き続き、共同研究を進めるべく、スカイプなどのツールを活用し、引き続き連携を図る。

「海外とのネットワーク化」

7月に副市長が姉妹都市であるポートランドを訪問するにあたり、Pacific Northwest Collage of Art (PNCA) 関係者と打ち合わせを行い、調印に向けて前向きな感触を得た。

8月の学内研究交流会に参加希望があったため、台湾の台中科技大学ならびに康寧大学関係者を各3名ずつ看護学部関係者が受入れ、研究交流を促進した。

これまでも交流が進められてきた台中科技大学から打診があり、12月に学術交流協定を調印した。今後は看護学部の交流も促進していく。

#### <知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。「産学連携知的財産アドバイザー派遣プログラム（工業所有権情報・研修館主催）」に採択され、当該事業から派遣される知的財産アドバイザーの支援を受け、特許出願1件、特許審査請求1件を行ったほか、「イノベーションジャパン」への知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北東北ものづくりプロジェクト形成ネットワーク」の幹事校として、一般財団法人工業所有権協力センター（IPCC）の助成を受け、ネットワーク会議（3回）開催、知的財産研修会（1回）開催、SCU産学官金研究交流会への参加などの活動を行った。

#### <研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究7件、共同研究1件、寄附金3件の受入れを行ったほか、前年度に改善した学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

#### <紀要編集>

前年度に発行準備をしていた研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第12巻」を平成30年7月に発行した。

## 10 附属図書館

平成30年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、長期休業期間の長期貸出、機関リポジトリへの登録促進、電子書籍導入、除却、飲食コーナー試行結果に基づく設置の可否等であった。

平成30年度より研究論文集の担当が地域連携研究センターから移管されたことに伴い、SCUジャーナル編集ワーキングを立ち上げ、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第13巻」を令和元年7月に発行することとし、投稿論文の査読を行った。6件を受理した。

この他、北海道地区大学図書館協議会相互利用促進事業運営委員会の委員館をつとめた。

芸術の森キャンパスライブラリーでは、札幌芸術の森美術館との連動企画展を開催（7月9日～8月



13日) した。

## 11 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成30年度は計10回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

さらに、高大接続改革に係る令和3年度入学者選抜試験の変更について検討を行い、変更内容について公表した。

## 12 キャリア支援センター

キャリア支援センターは、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、平成20年4月に設置され、両学部のキャリア支援委員会においては、各学部の特性や特徴及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。

## 13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に係わるプロジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

## 14 学内委員会

### 1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、平成30年度は11回開催した。

平成30年度の主な活動として、平成29年度計画及び第二期中期目標期間の実績報告書(案)の作成を行ったほか、平成30年度計画に係る半期の取組状況の進捗管理や大学評価(認証評価)結果に係る対応等について履行状況等の確認を行った。

### 2) 教員評価委員会

平成30年度は3回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた、記入要領及び申告書様式等の検証を行った。

評価結果については、平成30年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用した。

### 3) 総務委員会

平成30年度は12回の委員会を開催した。

委員会では、「風水害・台風・土砂災害マニュアル」の策定や基幹ネットワークシステム更新に係るシステム要件の検討等を行った。また、入試合格発表時の公式ウェブサイトに係る対応の見直しを行った。

なお、昨年に引き続き、防災訓練、夏季及び冬季の節電対策について検討を行い実施した。

#### 4) FD委員会

FD委員会は、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を積極的に行った。委員会を9回開催し、FD活動の方針について論議するとともに、具体的な取り組みについて内容を検討し、実施した。

#### 5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

平成30年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計11回開催）。

平成24年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っている。

年間の審査申請総数は34件であったが5件の申請取下げ、差戻しがあり、最終的に審査したのは29件であった。1回当たり平均2.6件の審査を実施した。審査結果は「承認」、「条件付承認」、「変更の勧告」、「非該当」のいずれかとし、「条件付承認」となった申請については、修正箇所を確認し承認する「迅速審査」を行った。ただし、平成30年度はこの審査結果について、研究科倫理審査会長とワーキングを立ち上げ、よりよい審査のための検討を行った。その結果、平成31年度4月より「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」「非該当」のいずれかで判定することとした。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、平成23年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

平成26年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、平成27年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、他大学の大学教授1名を追加で委嘱した（平成30年度は、特別審査部門の開催は0回）。

#### 6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、平成28年度に設置された。

平成30年度は委員会を3回開催し、利益相反自己申告書3件について審議を行った。

#### 7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、平成30年度に11回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議したほか、年度計画に対応した取り組みとしては、連携科目の効果検証、デザイン総合実習の効果検証、OSCEの効果検証、メンタルヘルスに関する研修会等を行った。また、毎回、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

#### 8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、平成30年度に6回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、連携プロジェクト演習の効果検証、研究科連携科目の担当教員調整、院生研究支援費執行マニュアル改訂、シラバスや履修の手引き等に関する事項について審議した。



## 15 構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 川上 佳津仁	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 上遠野 敏 川村 三希子 川上 佳津仁	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	企画室	樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 川上 佳津仁	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	広報室	細谷 多聞 小田 和美 安齋 利典 本田 光 石田 勝也 福田 大年 原井 美佳 森川 由紀 ◎川上 佳津仁 阿部 大	デザイン学部長 看護学部教授 デザイン学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局長 事務局次長 兼 桑園事務室長
	人事委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 川上 佳津仁	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防 止委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 川上 佳津仁	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	地域連携研究センター	◎上遠野 敏 菊地 ひろみ 武田 亘明 張 浦華 丸山 洋平 大野 夏代	地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
	地域連携研究センター	貝谷 敏子 三上 智子 金 秀 敬 武 富 貴久子 山本 真由美 田島 悠史 金子 晋也 柏倉 大作 阿部 大 上田 理子	看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 事務局地域連携課長	
	図書館	◎川村 三希子 若林 尚樹 松井 美穂 森 朋子 古都 昌子 松永 康佑 伊東 健太郎 檜山 明子 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局地域連携課長	
	教育支援プロジェクトセンター	◎樋之津 淳子 猪股 千代子 阿部 大	副学長 兼 看護学研究科長 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長	
	アドミッションセンター	◎細谷 多聞 松浦 和代 羽深 久夫 渡邊 由加利 守村 洋 大淵 一博 須之内 元洋 小宮 加容子 矢野 祐美子 櫻井 繭子 阿部 大 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長 事務局学生課長 事務局桑園担当課長	
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	樋之津 淳子 細谷 多聞 ◎松浦 和代 石井 雅博 川村 三希子 柿山 浩一郎 阿部 大	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 附属図書館長 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	教員評価委員会	◎樋之津 淳子 副学長 兼 看護学研究科長 細谷 多聞 デザイン学部長 松浦 和代 看護学部長 石井 雅博 デザイン研究科長 齊藤 雅也 デザイン学部教授 定廣 和香子 看護学部教授 川上 佳津仁 事務局長
		総務委員会	若林 尚樹 デザイン学部教授 猪股 千代子 看護学部教授 山田 信博 デザイン学部准教授 大淵 一博 デザイン学部講師 工藤 京子 看護学部講師 山本 真由美 看護学部講師 ◎川上 佳津仁 事務局長
		FD委員会	上 遠野 敏 地域連携研究センター長 ◎猪股 千代子 看護学部教授 三谷 篤史 デザイン学部准教授 大野 夏代 看護学部准教授 石田 勝也 デザイン学部講師 櫻井 繭子 看護学部講師 福原 啓祐 事務局学生課長 布廣 成規 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎川村 三希子 附属図書館長 矢部 和夫 デザイン学部教授 喜多 歳子 看護学部教授 山田 信博 デザイン学部准教授 村松 真澄 看護学部准教授 松永 康佑 デザイン学部講師 小坂 美智代 看護学部講師 上田 理子 事務局地域連携課長
		利益相反委員会	◎中島 秀之 理事長 樋之津 淳子 副学長 兼 看護学研究科長 川上 佳津仁 事務局長
		知的財産委員会	◎上 遠野 敏 地域連携研究センター長 菊地 ひろみ 看護学部教授 武田 亘明 デザイン学部准教授 貝谷 敏子 看護学部准教授 阿部 大 事務局次長 兼 桑園事務室長 上田 理子 事務局地域連携課長



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間	教務・学生連絡会議	細谷 多聞 ◎松浦 和代 羽深 久夫 矢部 和夫 町田 佳世子 定廣 和香子 小田 和美 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間	研究科教務・学生連絡会議	樋之津 淳子 ◎石井 雅博 齊藤 雅也 猪股 千代子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
衛生委員会		芸術の森事業所衛生委員会	金 秀敬 ◎阿部 大 安藤 貴之 佐藤 理紗	デザイン学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長 事務局総務課庶務係員 保健室保健管理員
		桑園事業所衛生委員会	近藤 圭子 田仲 里江 ◎阿部 大 松浦 憲之	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 桑園事務室学生支援係主任
学部委員会	デザイン学部	教務委員会	◎矢部 和夫 柿山 浩一郎 山田 良 丸山 洋平 藤木 淳 片山 めぐみ 石田 勝也	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		学生支援委員会	◎羽深 久夫 若林 尚樹 張 浦華 森 朋子 松井 美穂 金 秀敬 大島 卓	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		キャリア支援委員会	◎安齋 利典 三谷 篤史 椎野 亜紀夫 福田 大年 須之内 元洋 金子 晋也 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	看護学部	教務委員会	◎定 廣 和 香子 看護学部教授 卯野 木 健 看護学部教授 喜多 歳 子 看護学部教授 貝谷 敏 子 看護学部准教授 渡邊 由 加利 看護学部准教授 伊東 健 太郎 看護学部講師 小坂 美 智代 看護学部講師 工藤 京 子 看護学部講師 矢野 祐 美子 看護学部講師 高橋 奈 美 看護学部講師 武富 貴 久子 看護学部講師 檜山 明 子 看護学部講師 牧田 靖 子 看護学部助教 大友 舞 看護学部助手 鬼塚 美 玲 看護学部助手 渋谷 友 紀 看護学部助手
		学生支援委員会	◎小 田 和 美 看護学部教授 古 都 昌 子 看護学部准教授 本 田 光 看護学部准教授 藤 井 瑞 恵 看護学部准教授 守 村 洋 看護学部准教授 三 上 智 子 看護学部准教授 森 川 由 紀 看護学部講師 田 仲 里 江 看護学部助教 御 厩 美 登 里 看護学部助教 中 田 亜 由 美 看護学部助手
		キャリア支援委員会	◎菊 地 ひろみ 看護学部教授 神 島 滋 子 看護学部准教授 菅 原 美 樹 看護学部准教授 原 井 美 佳 看護学部講師 石 引 か ず み 看護学部助教 柏 倉 大 作 看護学部助教 近 藤 圭 子 看護学部助教 野 呂 田 美 菜 子 看護学部助手 高 橋 葉 子 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	◎齊 藤 雅 也 デザイン学部教授 安 齋 利 典 デザイン学部教授 町 田 佳 世 子 デザイン学部教授 椎 野 亜 紀 夫 デザイン学部准教授 藤 木 淳 デザイン学部准教授 片 山 め ぐ み デザイン学部講師 金 秀 敬 デザイン学部講師
		研究科倫理審査会	◎矢 部 和 夫 デザイン学部教授 城 間 祥 之 デザイン学部教授 山 田 信 博 デザイン学部准教授 阿 部 大 事務局次長 兼 桑園事務室長

区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎猪股 千代子 神島 滋子 菅原 美樹 高橋 奈美	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師
		研究科倫理審査会	◎卯野木 健 藤井 瑞恵 村松 真澄 阿部 大	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長

◎印：所管部局長等



## 16 FD・SD活動

## FD活動 年間活動概要 (学内研修会)

(単位：名)

全学FD	研修会名	場所	参加者数
4月25日	とある学長の生き様と研究歴	芸森:大講義室 桑園:講義室1	79
4月25日・26日	札幌市立大学の情報セキュリティ対策について	芸森:大講義室 桑園:講義室1	101
8月27日	2018札幌市立大学研究交流会	桑園:アリーナ	79
9月3日	キャンパスハラスメントの防止について ～加害者も被害者も出さないために～	桑園:講義室1 芸森:大講義室	71
2月7日	研究倫理とは：研究倫理審査の目的とポイント	桑園:講義室1 芸森:大講義室	66
2月26日	アクティブラーニングの視点から見た指導と評価の方法	桑園:大学院棟大講義室	48
2月26日	新カリの連携授業 その実施と課題	桑園:大学院棟大講義室	47
3月20日	基幹ネットワークシステムの更新について	芸森:大会議室 桑園:大会議室	65

(単位：名)

デザイン学部・ 研究科FD	研修会名	場所	参加者数
7月18日	メンタルヘルスに配慮した学生指導	芸森:大会議室	34
12月19日	授業評価アンケート分析よりみた授業改善方策の検討	芸森:大会議室	29
1月23日	デザイン学部の2020年度入試変更について	芸森:大会議室	33

(単位：名)

看護学部・ 研究科FD	研修会名	場所	参加者数
6月20日	入試改革における目指すべき方向性と課題整理	桑園:大会議室	65
9月18日	AACN synergy model for patient careとは～シンプルな理論とその概要～	桑園:講義室1	20
11月21日	模擬患者参加型演習・OSCEにおける教員の役割	桑園:大会議室	37
1月15日	普通のかかわりが難しい人へのアプローチ	桑園:講義室2	33
3月8日	模擬患者参加型学修を効果的に行うために	桑園:講義室5	28
3月20日	看護学部の2020年度入試変更について	桑園:大会議室	39
3月20日	平成30年度看護コンソーシアムの活動報告	桑園:大会議室	39

## SD活動 年間活動概要

(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
4月9日	障害者差別解消法に関する研修 (e-learning)	札幌市立大学 総務課	23
4月26日	情報セキュリティ研修	札幌市立大学 総務課	101
6月8日	契約事務研修 (基礎)	外部	1
6月8日	契約事務研修 (物品)	外部	2
6月25日	契約事務研修 (役務)	外部	2
6月25日	契約事務研修 (役職者)	外部	3
7月23日	予算事務研修	外部	1
8月29日	若手職員を育てる効果的な仕事の伝え方	外部	1
9月3日	キャンパスハラスメントの防止について (講師は学外)	札幌市立大学 総務課	71
9月18日	公立大学中堅職員研修	外部	1
9月21日	イラストレーター研修	札幌市立大学 地域連携課	10
10月18日	大学職員セミナー	外部	1
11月26日	北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」	外部	1
11月30日	認知症サポーター養成講座	札幌市立大学 地域連携課	7
12月11日	ほっとけないゲートキーパー研修会	外部	1
1月16日	北海道におけるサイバー情勢	外部	1
1月17日	デートDV	外部	1
2月6日	コミュニケーション向上講座	外部	1
2月6日	働き方改革 (講師は学外)	札幌市立大学 総務課	15
2月19日	コミュニケーションスキルアップ講座	外部	1
3月7日	コンプライアンス研修 (e-learning)	札幌市立大学 総務課	31